

# 平成27年度 学校法人三幸学園 仙台医療秘書福祉専門学校

## 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：教務課長 島田 貴司

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 高岸 学

### 1. 学校の教育目標

三幸学園は、昭和 60 年の開校以来『技能と心の調和』を教育理念に掲げ、教育を展開してきた。ここでは、社会への有益な職業人を数多く輩出することを目標に、“有益な職業人とは、専門的知識・専門的技術を十分持ちながら、常に変遷する社会に対し柔軟に対応するため日々研究・研鑽を続け、職業人としての使命感をしっかりと確立した人物”と定義し、心豊かな人間性を育む教育に注力している。

この基本理念は、教職員に対しては、教職員手帳、「三幸学園の原点 あきらめない教育」に明記し配布しているほか、全教職員が一同に集う「ビジョンミーティング」、「サマーセミナー」においては、学園長及び理事長からの訓示の中で繰り返し唱え、各姉妹校で行われる年3回の全体会議にて共有化を図っているものである。また、学生に対しては、「入学式」や「スタートアッププログラム」において、校長や教職員からの言葉として示すとともに、本校独自のカリキュラム「成功の法則」の授業で使用する「夢のスケッチブック」に記載し周知を図っている。このほか、受験生、高等学校、保護者等に対しては、オープンキャンパス、高校訪問、保護者説明会などを通じて伝え、また、パンフレットに明記することにより学内外の周知に努めている。

### 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

教育理念「技能と心の調和」の質の向上 ～人間性を高める教育の実践～

三幸学園医療秘書福祉専門学校では「相手のこうして欲しいを理解し、考え動ける人材」を育成することを全国で掲げ、単に知識や技術を教育するに留まらず、人間性を高める教育を併せて展開することにより、更に社会で役立つ人材を輩出することができる。

#### 教務目標

- ・皆精勤 57%以上
- ・退学率 3.0%以内

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

#### ① 課題

- ・学科等に対応する業界のニーズに向けて方向性を高める

#### ② 今後の改善方策

- ・業界との関係性を深めていき、求められる学校像を正確に把握する
- ・求められる学校像に対し、正確に課題を見極めることで具体的な対策を掲げ、実践していく

#### ③ 特記事項

・教育理念から人材育成をより体系化するべく、三幸学園の教職員としてのビジョンを「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」と設定し、目指す人材育成像を「素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで、社会に貢献する人材」と設定している。

これらを踏まえて、医療校の目指す人材育成像を「相手のこうして欲しいを理解し、考え動ける人材」と設定し、全教職員への浸透を実施している。

業界のニーズをより深く理解し、教育に活かしていくことを目的に、学科ごとに教育課程編成委員会を実施し教育課程の共同編成やシラバスの共同開発を行い、業界の即戦力となれる人材育成を積極的に実践している。

#### 【学校関係者評価委員コメント】

・大学生卒業後専門学校を卒業した職員は現場にすぐに溶け込み、実践力も高い。大学生と専門学校生のスタートラインが違う点を考え、意識付けを行ってから業界に出していただきたい。男性も増えてきました。

・病院では、看護助手卒の募集を行っているが、介護福祉の資格保持者でも、長く務める人が少ない。施設ではないので目的が違うのかすぐに辞めてしまう。専門学校で学んだ人は、施設ではなく病院ということで、よりレベルの高いものを求められているように思い、ギャップの違いを埋めるような投げ掛けも必要である。しかし、三幸学園からは、非常に評価できる人材を輩出していただいている。

## (2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

### ① 課題

- ・運営する上で必要な人材確保・育成については今後の課題となる

### ② 今後の改善方策

- ・教職員の目的・目標の浸透
- ・企業と連携した授業構築

### ③ 特記事項

・年3回定期的に全教職員に向けての会議を実施、運営方針の浸透と共に、情報共有を積極的に行なっている。また、全教職員対象にビジョンミーティングも実施し、学園のミッション・ビジョンの浸透にも力を入れている。

学則に定めた学校の目的、及びそれを達成するための教育目標に基づき、校長の指示の下、副校長は理事会の承認を得て、学校の年度毎の「事業計画(経営計画)」を策定している。「事業計画(経営計画)」には予算等を明示している。各学科、校務分掌組織は「事業計画(経営計画)」により年間の予算等の運営計画を策定して、業務を遂行する。

### 【学校関係者評価委員コメント】

・教職員の方が活き活きと学生に訴えていくことを全カリキュラムの教職員でしていただくことが非常に大事である。教職員の方のモチベーションアップと現場理解をしていただくようお願いしたい。

・学校と企業が問題のある点を意見交換ができる関係性を築いてほしい。また、どういう教育をしているか教育目標などは資料をいただくが、具体的なところが分かりにくいいため見る機会を設けてほしい。

### (3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

#### ① 課題

- ・各分野の業界の現状を踏まえた授業改善、指導力の向上
- ・各分野の業界からの意見を取り入れたカリキュラムの編成

#### ② 今後の改善方策

- ・専門研修を行いニーズにあった授業を展開できる環境の改善を目指す
- ・カリキュラム編成委員会の設置により学科ごとの実践的なカリキュラムの策定を目指す
- ・業界の情報を取りに行くために企業との情報交換の強化を目指す

#### ③ 特記事項

- ・業界の理解を高めるため内部研修を実施し、課題への改善に努めた
- ・授業アンケートで高い評価を受けた教員からの研修を実施し、指導力向上に努めた

#### 【学校関係者評価委員コメント】

- ・三幸フェスティバルを実際に見たが、何でも一つになること、一つのことに向かって行うことは良いことだと思う。非常に感動した。

・研修はその先の現場にどう繋がるかが重要だと思う。介護現場では、新任職員の研修が6ヶ月間ある。自己評価に対して面談をし、研修を実施していく。同時に新任職員がどのように育って来ているかOJT指導で、面談などを行なっている。6ヶ月で一人前というわけではなく、自分が指導担当になったときに初めて立場が指導者となったことで成長を感じれるのではないかな。

#### (4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

#### ① 課題

- ・出席率の向上
- ・退学率の改善
- ・卒業生の社会的な活躍および評価の把握については情報の収集および整理する

#### ② 今後の改善方策

- ・出席率向上のために教員間連携や保護者との連携を図り、退学率改善へ努める
- ・卒業生同窓会ホームページを活用し、卒業生の動向を把握し、繋がる場として活用していく

#### ③ 特記事項

- ・平成27年度皆精勤 46.9%
- ・各教科チーフの役割を見直し、姉妹校の情報などを集め、資格取得に向けたより効果的な教育内容を展開した
- ・在校生に対し卒業生講話の時間を設け、卒業後の経験を後輩にも伝える機会を設けた

#### 【学校関係者評価委員コメント】

・退学者には、進路変更・目標喪失が多い。介護現場の職員の中に、とても優しくて良い人が動悸がするなどし、今は休職している人がいる。利用者の家族が若い職員に対し、大きな声で怒鳴ることが要因になってしまったようだ。人間の心の波に外部からの刺激がかかり、そのようになってしまったのだと思う。最近、職場にメンタル面が弱くなってしまう人が多いが、そのようなことも理解した上で採用し、メンタル面を支えなければいけないのかとも思う。教育現場では、職業の魅力などをより伝えられるようにしていくことが課題である。

## (5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

### ① 課題

- ・課外活動に対する支援体制の見直し
- ・保護者との連携改善
- ・卒業生の転職・再就職支援に対する支援
- ・キャリア教育・職業教育の取組に対する認知拡大

### ② 今後の改善方策

- ・課外活動に対して目的の再設定、及び計画の立案
- ・保護者との連携するために、期毎に成績表、学校予定などを郵送し学校理解を深めていく
- ・卒業生同窓会サイトや学校HPを活用し、求人の案内の告知をしていく
- ・キャリア教育・職業教育の取組を入学相談室と連携し高校へ認知させていく

### ③ 特記事項

- ・卒業生同窓会サイトを活用し、社会人教育支援を実施している

### 【学校関係者評価委員コメント】

- ・特になし

## (6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	3

### ① 課題

- ・防災対策向上へ向けた取り組み

### ② 今後の改善方策

- ・現状のニーズに応じた環境の設定を見直す

### ③ 特記事項

- ・2階に介護・入浴実習室、3階に家政学実習室を新たに設置した
- ・パソコンルームのパソコンもデスクトップ型からノート型にし、最新の環境に整備した
- ・全教職員向けに一次救命処置(心肺蘇生・AED 取扱い)の講習を実施
- ・平成 27 年度より「大地震対応マニュアル」を作成し、全教職員・生徒へ配布

### 【学校関係者評価委員コメント】

- ・介護現場での防災訓練は、年 2 回は利用者も一緒に行っている。炊き出し訓練なども行い地域にアピールするきっかけにもなっている。何かあったときには地域も含めて対応できるようにしている。

## (7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

- ・定員充足のための生徒募集活動
- ・職業実践専門課程の理解や周知

### ② 今後の改善方策

- ・本校の教育成果を更にわかりやすく伝えていく為に、HP等を活用していく
- ・DM の送付をさらに行い、体験入学への案内の強化をしていく
- ・更に教育の成果を高め、「選ばれる学校」へ向けて教育の改善を行う

### ③ 特記事項

- ・特になし

### 【学校関係者評価委員コメント】

- ・当社に入社した中の三幸学園卒業生は、ほとんどオープンキャンパスで入学を決めたという人が多い。学校の雰囲気良かったなど。先輩が話していることを真剣に聞いている姿が素晴らしい。

## (8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

- ・第三者からも閲覧しやすい財務情報公開

### ② 今後の改善方策

- ・学校運営がより充実した運用ができるように、より予算・収支計画の精度を高める

### ③ 特記事項

- ・財務状況を学校HPで閲覧できるように対応

### 【学校関係者評価委員コメント】

学園の財務状況の報告内容を確認し、とても安定していると感じる。

## (9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

### ① 課題

- ・自己評価から問題点改善へ精度を高める

### ② 今後の改善方策

- ・問題点に対しての改善策を具体化し、計画的に実施する

### ③ 特記事項

- ・自己評価結果を学校HPにて閲覧できるように対応

### 【学校関係者評価委員コメント】

個人情報の取り扱いなどは現場でもとても重要視している。学校でも個人情報が多いため最善の注意を払わなくてはならない。



## (10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

### ① 課題

- ・学校施設の活用方法(外部への貸し出し・催し物)
- ・社会貢献・地域貢献に対する学科間差を改善

### ② 今後の改善方策

- ・地域の方が利用できるような講座・イベントの立案、実施
- ・ボランティア活動の推進
- ・教育訓練の受託などへの実施

### ③ 特記事項

- ・特になし

### 【学校関係者評価委員コメント】

- ・今後、文化祭やボランティアなどで地域の一般の方と生徒が関わるような機会を設け、地域貢献として実施することも検討してほしい。